

地域の交通安全

金 賞 泉北小学校 6年 中田 蒼介

僕の家の近くには、車同士の事故が何回も起きています。

その場所は十字路になっていて、標識もマークも何もないので、お互いが確認して進まなければならないような道路です。

僕のお母さんの話によると、昔は止まれのマークが大きく道路に書かれていたそうですが、今は何もない状態になっています。

では、この十字路でいったいどんな事故が実際起こったのか、僕が聞いて知っている事をお話したいと、思います。

一つ目の事故は、お互いが確認をしないで、車は来ないだろうと軽い気持ちで走行したために、十字路の真ん中で衝突して、片方の車が横倒しになってしまった事故です。

二つ目の事故も同様で、お互いの確認不足による事故で、歩道の出入口にガードレールのような役割の大きめの石があるのですが、車同士がぶつかった反動で片方の車が石にぶつかり、大きな石はごろっと地面から剥がされたように転がってしまう程の事故でした。

どちらの事故も救急車は来ていなかったのですが、大きなケガをした人はいなかったと思いますが、どちらも同じ理由で事故が起きています。新しく建つ家が増えて、出張の人なのか他県ナンバーの車もよく見かけるようになり、以前にあった止まれのマークを知らない人達や、自分勝手な運転をする人が多く感じます。

僕自身も、お母さんに気を付けるように言われているので、その場所を通る時は念入りに確認してから通るようにしています。

お母さんは、あまりにも危険な運転をする人や、事故が多く起きているので、警察にも電話をかけた事もあるそうです。

いつか人身事故が起きてしまうのではないかと、とても心配しています。

きっと他にも僕のお母さんと同じように心配している人がいると思います。

危険な道路は他にもたくさんあって、標識やマークなどを建てたり書いたりするのは、そんなに簡単には出来ないかもしれないけど、起きる前に防げるなら、どうかこの十字路も改善されるといいなと思います。

僕は今年最高学年になり、班では班長をしています。

入学したばかりの一年生が三人いて、それぞれ手をつないで交通ルールを守り、一年生が安心して登校できるように心がけています。

通学路の事ですが、お話した十字路も、僕の班ではないですが、別の班が一組通ります。その班にも、もちろん一年生がいます。

朝はみんなが急いでいるので、特に気を付けなければならないですが、やはりその十字路は車が勢いよく通っていきます。

ニュースでも登下校中の子供達の班に車が突っ込む事故が多く取り上げられているのを見ると、この十字路もそうなるもおかしくないかと、小学生の僕でも思います。

やはり何かしらの対策をしないと、きっと勝手な運転をする人も減らないし、事故もまた起こってしまうのではないかと思います。

そこで僕が考える対策としては、まず地区子供会に報告して、そちらから学校の交通安全母の会に報告してもらおうのが、一番いいのではないかと考えています。

前にお母さんが、学校の母の会の会長をしていた時に、警察の方との交流があると言っていたのを聞いた事があるので、その場所は標識などが無い危険な通学路だと伝わるし、地区子供会の方では、その場所に立哨当番でお母さんやお父さんが立つようにしようなど、決めてくれると思うので、すぐに標識やマークをではなく、出来る事から少しずつ地域で取り組む事ができれば、その場を目にする運転手さんにも伝えていくのかなど、話し合いはまとまりました。

今までの事もふまえて、危険な道路や通学路になっている場所は、学校側でも子供会側でも、もう一度見直して把握して、共有する事が重要だと思います。

そして僕達子供は、登下校の時班長を筆頭にみんなが十分に注意して通る事。

普段遊ぶときも、危険場所を通る時は、友達同士でふざけながら通るのではなく、きちんと左右の確認をする事。

もし自転車に乗っているなら、その場所だけでも降りて自転車をひいて通る事。

学校や地域そして僕達一人一人が、協力し合い意識して行動すれば、きっと良い方向に変わっていくのではないかと思います。